※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１５

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	『高等学校　現代の国語』　（第一学習社）						
副教材等	『入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500』（いいずな書店）、 『新課程対応版　大学入試共通テスト対応版　LT 現代文１』（浜島書店） 『ビジュアルカラー国語便覧　改訂版』（大修館書店）、						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代の国語では、現代文の学習をします。１年生では基礎的な国語力を養い、論理的な思考力と判断力を身につけることが目標です。漢字小テストを実施しますので、語源や字義などもしっかりと覚えましょう。また、授業の予習として、わからない語句を辞書で調べ語彙力を高めてください。授業では、説明をよく聞き、ノートはただ写すだけではなく、復習するときにわかりやすいように工夫しましょう。授業内容が理解できたかどうかは、定期テストだけではなく、日頃の発言や発表、提出物、ノートの記述などを総合して判断します。

国語力は、反復と継続で身につくものです。たとえ一日に 10 ページでもよいので読書に親しみましょう。新聞を読むこともおすすめします。自然と知識が増え、読解力が身につきます。

問題集など授業で詳しく扱わない単元も定期テストに出題します。日常的に長文の読解のトレーニングをしていきましょう。

２　学習の到達目標

現代の文章を学習することで、以下の資質・能力を育成することを目指す。

（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

（３）言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期中間	大勢の人に自分の考えをわかりやすく伝える ［教材］ 本の紹介スピーチ	a：話し言葉と書き言葉の特徴がわかる b[話／聞]：相手により伝わりやすい表現方法を実践できる。スピーチを聞き取り、評価できる。 c：積極的に表現や話し方を工夫している。積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価しようとしている。	スピーチ原稿	発表 評価シート	授業態度
	自己と他者について述べた文章を読み、論の構成・展開を的確にとらえる。 ［教材］ 「本当の自分」幻想（ｐ19）	a：漢字を文章中で活用できる。語彙を増やしている。 b[読]：自己と他者について述べた文章を読み、論の構成・展開を的確にとらえ、要旨を把握できる。 c：論の展開を粘り強く把握しようとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
	東西の文化を比較した文章を読み、二項対立で論述する。 ［教材］ 水の東西（ｐ42）	a：漢字を文章中で活用できる。語彙を増やしている。 b[書]：東西の文化を二項対立的に論述できる。具体例を抽象化できる。 c：自分の考えを持ち、表現の仕方を工夫しようとしている。西洋と日本の文化に興味関心を持っている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
1学期期末	作品の主題について考えを伝え合う。 ［教材］ 羅生門（ｐ28）	a比喩などの修辞を理解し、語彙を増やしている。読書の意義と効用がわかる。文学史的知識が身についている。 b[話／聞]：主題についてお互いの考えを伝えあうことができる。 c：主人公の心情を読み取り積極的に意見感想を述べようとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
	文章を分析的に読み、要旨をまとめる。 ［教材］ 「間」の感覚（ｐ72）	a：漢字を文章中で活用できる。 b[書]：文章を分析的に読み、論の展開を理解し要旨をまとめることができる。 c：論の展開を粘り強く分析し、要旨をまとめようとしている	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
2学期中間	作品の主題について根拠を示して考えを説明する。 ［教材］ 鏡（ｐ132）	a比喩などの修辞を理解し、語彙を増やしている。読書の意義と効用がわかる。文学史的知識が身についている。 b[話／聞]：互いの考えが的確に伝わりあうように論拠を示して説明できる。 c：粘り強く文章を読み、積極的に意見感想を述べようとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
	近代の課題について考えを深め、科学と技術の違いを対比的に整理しながら要旨をまとめる。 ［教材］ 「文化」としての科学(p89)	a：漢字を文章中で活用できる。語彙を増やしている。 b[書]：内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握できる。文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈できる。 c：論の展開を粘り強く分析し、要旨をまとめようとしている	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
2学期中間	現代社会に関心を持ち、自分の意見を論述する。 ［教材］ フェアな競争(p121)	a:漢字を文章中で活用できる。語彙を増やしている。 b[書]:内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握できる。調べた情報を整理し、自分の意見の説明を補強できる。 c:書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを伝えようとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
2学期期末	作品を味わい考えや思いを伝え合う ［教材］ 夢十夜(p100)	a比喩などの修辞を理解し、語彙を増やしている。読書の意義と効用がわかる。文学史的知識が身についている。 b[話／聞]:非日常について、考えや思いを深め、伝え合うことができる。 c:積極的に作品を味わい、意見感想を述べようとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
	言葉の働きについて理解し、自分の意見や考えを論述する ［教材］ ものとことば(p49)	a:漢字を文章中で活用できる。語彙を増やしている。 b[書]:内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握できる。効果的な表現を使って自分の考えを論述できる。 c:筆者の主張をふまえて自分の考えを論述しようとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
	日本文化について自分の意見や考えを論述する ［教材］ 無彩の色(p82)	a:漢字を文章中で活用できる。語彙を増やしている。 b[書]:内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握できる。適切な情報を集め効果的に利用できる。 c:情報の妥当性を吟味して論述しようとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
3学期	作品の主題や社会的背景について考えを伝え合う。 ［教材］ 砂に埋もれたル・コルビュジエ(p58)	a:比喩などの修辞を理解し、語彙を増やしている。読書の意義と効用がわかる。文学史的知識が身についている。 b[話／聞]:互いの考えが的確に伝わりあうように内容・構成に工夫している。 c:積極的に伝わりやすい表現をしようとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
	文章を分析的に読み、根拠の妥当性と主張の関連を読み取る ［教材］ デザインの本意(p200)	a:漢字を文章中で活用できる。語彙を増やしている。 b[読]:論の構成・展開を的確にとらえ、要旨を把握できる。 c:論の展開を粘り強く把握しようとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
	近代化と時間の合理性について考えを深め、自分の意見を論述する ［教材］ 不均等な時間(p152)	a:漢字を文章中で活用できる。語彙を増やしている。 b[書]:内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握できる。適切な根拠を示し自分の考えを論述できる。 c:積極的に持続可能な社会に関する意見文を書こうとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間